

様式第 5 号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画									
1	教育実習等の内容及び成績評価等								
①	教育実習の時期 4 年次の 5 月～6 月								
②	教育実習の実習期間・総時間数 ＜教育実習＞中学校 3 週間（120 時間）、高等学校 2 週間（60 時間）								
③	教育実習校の確保の方法 ＜教育実習＞ 大学が予め教育実習受入承諾を得ている学園内中学校・高等学校および大学近隣の高等学校や教育委員会と調整のうえ、教職教室専任教員が実習生の希望と実習校の受入人数を考慮して決定する。								
④	教育実習内容 ＜教育実習＞ 教育実習では、教科指導をはじめ、他教員または教育実習生の授業参観、「道徳の時間」の指導、特別活動の指導を行うこととし、具体的な時間数は、実習校との話し合いによって決定する。また、大学における「教育実習事前・事後指導」では、教育実習生に対して、教育実習中は進んで生徒に関わり、生徒一人ひとりを理解するように指導する。								
⑤	実習生に対する指導の方法 ＜教育実習＞ 教育実習の前後に教職教室の「教育実習」担当専任教員 4 名が「教育実習事前・事後指導」を実施し、教育実習に向けての意義や心構え、模擬授業、場面指導などの指導を行う。教育実習中は、教職教室の「教育実習」担当専任教員が、原則としてすべての実習校での訪問指導にあたる。実習校から訪問指導を断られた場合は、電話で指導担当教諭に実習の様子をうかがい実習生へ指導を行う。								
⑥	実習の成績評価（評価の基準及び方法）※ 評価項目表添付。 ＜教育実習＞ 教育実習校からの成績報告（別添「教育実習成績報告書」参照）を加味し、以下の評価方法により教職教室の「教育実習」担当専任教員が総合評価を行う。 <table border="0"> <tr> <td>(1)「教育実習事前・事後指導」の平常点（授業態度など）</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>(2)「教育実習事前・事後指導」におけるレポート内容</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>(3)「教育実習事前・事後指導」における演習内容</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>(4) 教育実習校からの成績報告</td> <td>50%</td> </tr> </table>	(1)「教育実習事前・事後指導」の平常点（授業態度など）	20%	(2)「教育実習事前・事後指導」におけるレポート内容	20%	(3)「教育実習事前・事後指導」における演習内容	10%	(4) 教育実習校からの成績報告	50%
(1)「教育実習事前・事後指導」の平常点（授業態度など）	20%								
(2)「教育実習事前・事後指導」におけるレポート内容	20%								
(3)「教育実習事前・事後指導」における演習内容	10%								
(4) 教育実習校からの成績報告	50%								
2	事前及び事後の指導の内容等								
①	時期及び時間数 ＜教育実習＞事前指導：4 年次の 4 月～5 月（14 時間） 事後指導：4 年次の 7 月（2 時間）								
②	内容（具体的な指導項目） 事前指導：(1)教育実習ガイダンス（講義・2 時間） (2)教育実習の意義と心構え（講義・2 時間） (3)卒業生による教育実習体験談（講演・2 時間） (4)模擬授業・場面指導（演習・6 時間）								

(5)中・高校生への接し方 (講義・2時間)
事後指導：(1)教育実習のまとめ (講義・2時間)

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等 (以下「委員会等」という。)

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・委員会等の名称：大阪工業大学教職課程委員会
- ・委員会等の構成員

教務部長 1名、教職主任 1名、工学部一般教育科長 1名、総合人間学系教室主任 1名、
教職教室の教授、准教授、講師または助教の中から教務部長の推薦により学長が任命した者 若干名
工学部設置各学科の教授の中から学部長の推薦により学長が任命した者 各学科 1名
ロボティクス&デザイン工学部の教授の中から学部長の推薦により学長が任命した者 各学科 1名
情報科学部の教授の中から学部長の推薦により学長が任命した者 各学科 1名
その他必要に応じて学長が任命した者 若干名

- ・委員会等の運営方法

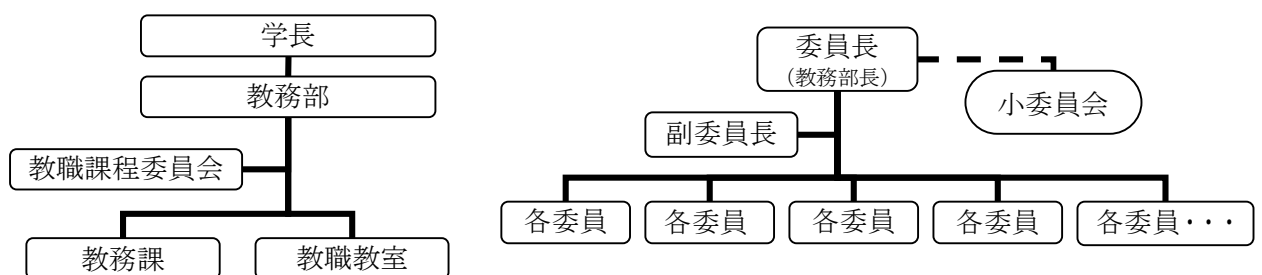
委員会に、委員長および副委員長各 1 名を置く。(委員長は教務部長をもって充て、副委員長は、委員の中から教務部長の意見を聞いて学長が任命する。)委員長は、学長の指揮に従い、委員会を招集し、議長となる。副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命ぜられたとき、委員長の職務を行う。

委員会は、教職課程に関するつぎの事項を審議する。①教職課程の基本方針に関すること、②教職課程の編成ならびに適切な運営に関すること、③教職課程に関わる自己点検・評価に関すること、④教職課程の質の維持・向上に関すること、⑤教職課程に関わる情報の公表に関すること、⑥その他学長が諮問した事項に関すること。

また、委員長は、必要に応じて、小委員会を設けることができる。小委員会の委員長および委員は、委員の中から委員長が指名する。ただし、必要に応じて、委員以外の者を加えることができる。小委員会では、委員会から付託された事項について審議する。

【委員会の組織図】教職課程委員会の組織図

教職課程委員会の運営体制

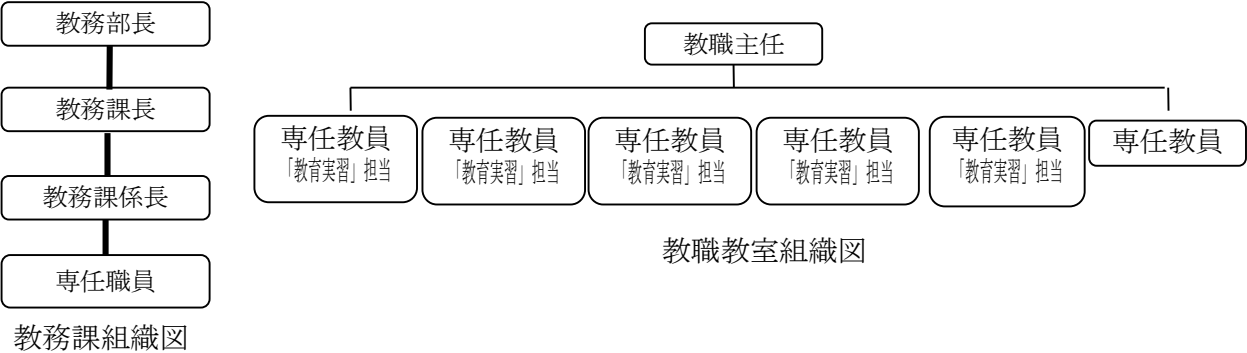


② 大学外の関係機関 (例：都道府県及び市区町村教育委員会など) との連絡調整等を行う委員会等

- ・委員会等の名称：大阪工業大学教務部 教務課・教職教室
- ・委員会等の構成員：教務課：課長 1 名、係長 1 名、専任職員 1 名
教職教室：教職主任 1 名、専任教員 6 名
- ・委員会等の運営方法

教育実習の運営は、教職課程委員会のもと大学内組織として設置している教務課と教職教室が行う。大学外の機関との連絡調整は、教職主任と教務課構成員が中心となってい、教職教室の「教育実習」担当専任教員が巡回指導や連絡調整を行う。

【委員会の組織図】 教務課・教職教室の学内組織図は①を参照



- 4 教育実習の受講資格
- 1. 先修科目として、「教育の基礎的理解に関する科目」の「教育原論」、「教職入門」、「教育心理学」、「生徒指導と進路指導」、「特別支援教育」、「道徳教育」ならびに「教科及び教科の指導法に関する科目」の「技術科教育法 a・b」の単位および「教科に関する専門的事項」の必修科目と選択科目(選択必修科目含む)14 単位以上を修得していること。
 - 2. 卒業後、中学校、高等学校、中等教育学校での教職に就くことを希望していること。
 - 3. 当該年度に卒業見込みであること。
 - 4. 教員免許状取得に必要な科目の単位を卒業までに充足する見込であること。
 - 5. 教育実習履修ガイダンスに出席し、所定の期間に申込み手続きを行うこと。

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	中学校 3 9 学級		
○	×	学校名	常翔学園中学校（大阪府大阪市旭区 5 丁目 1 6 - 1）		
		教員数	2 6 人 （内訳） 教諭16人、 助教諭0人、 講師8人、 養護教諭2人、 養護助教諭0人、 栄養教諭0人		
○	×	学校名	大阪市立大宮中学校（大阪市旭区中宮 4 丁目 7 - 1 1）		
		教員数	2 5 人 （内訳） 教諭19人、 助教諭0人、 講師5人、 養護教諭1人、 養護助教諭0人、 栄養教諭0人		
○	×	学校名	大阪市立北稜中学校（大阪市北区天満橋 1 丁目 1 - 5 8）		
		教員数	8 8 人 （内訳） 教諭55人、 助教諭0人、 講師31人、 養護教諭2人、 養護助教諭0人、 栄養教諭0人		
		教育委員会名	小学校： 校 中学校： 校		

20 年 月 日

実 習 校

都道府県名	学 校 名	学 校 長 氏 名	実習指導担当教諭氏名
	立 学校	印	印

実習生・実習教科

学部・学科	学生番号	氏 名	実習教科名

出 勤 状 況

実 習 期 間	出勤すべき日数	出勤した日数	欠席した日数	遅刻	早退
自 月 日 至 月 日	日	日	病 欠 日 事故欠 日 その他 日		

事 項 別 評 価 各事項についてA (優)、B (良)、C (可)、D (不可) のいずれかに○印をつけてください。

区分	事 項	おもな着眼点	評価			
教科指導	指 導 態 度	到達目標を明らかにし、一人ひとりのつまずきの原因などを見きわめて、すべての生徒によく理解させようと努力したか。	A	B	C	D
	知 識 ・ 技 能	話し言葉や文字が明瞭で、教材を効果的に用いるとともに、適切な発問、応答、指示、説明等によって、生徒がいきいきと取り組める授業を行うよう努力したか。	A	B	C	D
	教 材 研 究	教材研究を怠らず、計画的かつ創意工夫のある指導を行ったか。	A	B	C	D
生徒指導	生 徒 理 解	進んで生徒に関わり、生徒一人ひとりをよく理解しようとしたか。	A	B	C	D
	個別・集団指導	生徒一人ひとり、および学級集団全体に着目し、問題に応じて個別的・集団的に解決しようとしたか。	A	B	C	D
	教 科 外 指 導	特別活動や道徳などの指導を意欲的に行ったか。	A	B	C	D
実習態度	勤 務 態 度	勤務態度が良く、実習の意欲や熱意は見られたか。	A	B	C	D
	提 出 物	教育実習記録、指導案、その他書類などを、主題に則して的確に記述し、期限を守って提出したか。	A	B	C	D
	学 校 理 解	学校の様子を理解しようとしたか。	A	B	C	D

総 合 評 価

A B C D	「事項別評価」の単なる平均としてではなく、9項目の中に含み得ない一般的内容も加味し、実習生としての努力と成果を総合的に評価してください。 A (優) : たいへん優れた実習の成果をあげた。 B (良) : すぐれた実習の成果をあげた。 C (可) : ほぼ所期の実習成果をあげた。 D (不可) : ほとんど実習の成果があがらなかった。
---------	---

概 評	

(お願い) 教育実習終了後速やかに、厳封のうえ大阪工業大学教務課または情報科学部事務室まで、必ずご返送ください。

2022年2月10日

教育実習生受入承諾書

大阪工業大学長

井 上 晋 殿

常翔学園中学校

校長 北 尾 元 一

貴大学の教育実習生を受入れることを承諾します。

記

1. 学校名：常翔学園中学校
2. 所在地：535-8585 大阪府大阪市旭区大宮5丁目16-1
3. 学級数： 12 学級（令和3年5月1日現在）
4. 生徒数： 399 人（令和3年5月1日現在）
5. 教員数： 26 人（合計）（令和3年5月1日現在）

（内訳）教 諭：	16 人
助 教 諭：	0 人
講師（専任）：	8 人
養 護 教 諭：	2 人
養護助教諭：	0 人
栄 養 教 諭：	0 人

以 上

2022年1月24日

教育実習生受入承諾書

大阪工業大学長

井 上 晋 殿

大阪市立大宮中学校

校長 阿久津 弘治

貴大学の教育実習生を受入れることを承諾します。

記

1. 学校名：大阪市立大宮中学校
2. 所在地：535-0003 大阪市旭区中宮4-7-11
3. 学級数： 11 学級（令和3年5月1日現在）
4. 生徒数： 240 人（令和3年5月1日現在）
5. 教員数： 25 人（合計）（令和3年5月1日現在）

（内訳）教 諭：	19 人
助 教 諭：	0 人
講師（専任）：	5 人
養 護 教 諭：	1 人
養護助教諭：	0 人
栄養教諭：	0 人

以 上

2022年1月21日

教育実習生受入承諾書

大阪工業大学長

井 上 晋 殿

大阪市立北稜中学校

校長 山 咲 進 一

貴大学の教育実習生を受入れることを承諾します。

記

1. 学校名：大阪市立北稜中学校
2. 所在地：530-0042 大阪市北区天満橋1丁目1-58
3. 学級数： 16 学級（令和3年5月1日現在）
4. 生徒数： 402 人（令和3年5月1日現在）
5. 教員数： 28 人（合計）（令和3年5月1日現在）

（内訳）教	諭：	22	人
助 教	諭：	0	人
講師（専任）：		5	人
養 護 教 諭：		1	人
養護助教諭：		0	人
栄 養 教 諭：		0	人

以 上